

注3

大学番号：私615

[平成26年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

日本医療大学 保健医療学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 オカムラ 岡村 セイイチロウ 誠一郎

電話番号 011-885-7711

（夜間） 011-885-7711

FAX 011-885-5757

e-mail s_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本医療大学

(2) 大 学 名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒004-0839

北海道札幌市真栄434番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツシマ ノリアキ) 対 馬 徳 昭 (平成5年4月)		
学 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)		
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)		
学科長等	(モンマ マサコ) 門 間 正 子 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 4 年度に報告済の内容 → (24)

平成 2 6 年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	—	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	— (—) [—]		— (—) [—]		— (—) [—]		80人 (—) [—]		1.06倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	289人 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	270人 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	137人 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	85人 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B / A	—		—		—		1.06倍			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] 85人	[ー] ー	
2 年次				[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	
3 年次				[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー			
4 年次						[ー] ー	[ー] ー			
計						[ー] ー	[ー] ー	[ー] ー	[ー] 85人	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	— 人	— 人	平成23年度	— 人	— 人	—	— %
			平成24年度	— 人	— 人	—	
			平成25年度	— 人	— 人	—	
			平成26年度	— 人	— 人	—	
平成24年度 入学者	— 人	— 人	平成24年度	— 人	— 人	—	— %
			平成25年度	— 人	— 人	—	
			平成26年度	— 人	— 人	—	
平成25年度 入学者	— 人	— 人	平成25年度	— 人	— 人	—	— %
			平成26年度	— 人	— 人	—	
平成26年度 入学者	85 人	0 人	平成26年度	0 人	— 人	—	0 %
合 計	85 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 教 育 科 目	看護を知る	1前	1			6 5	5	6 7	2		教員変更のため 26年6月変更書提出予定
	生命科学	1前	1			1					
	心理学	1前	1				1				
	発達心理学	1後		1			1				
	倫理学	1前		1			1				
	生命倫理	1後		1			1				
	哲学	1後		1							
	論理学	1前	1								
	宗教と思想	2前		1			1				
	人間関係論	1前		1			1				
	文化人類学	1後		1		1					
	社会学	1後		1							
	音楽	2後		1							
	法学	2前		1							
	教育学	2前		1							
	北海道史	1前		1							
	ボランティア活動	2前		1							
	生活科学	1後		2							
	自然科学	1前		1							
	環境科学	1後		1							
	生活と運動	1前		1							
	健康とスポーツ	1後		1							
	統計学	1後		1		1					
	情報科学Ⅰ	1前	1			1					
	情報科学Ⅱ	1前	1			1					
	日本語表現	1前	1				1				
	英語Ⅰ	1前	1								
	英語Ⅱ	1後	1								
	英語Ⅲ	2前		1							
	英語Ⅳ	3前		1							
	中国語	2前		1			1				
	韓国語	2前		1							
専 門 基 礎 科 目	総合医療論	1前	1			1					教員変更のため 26年6月変更書提出予定
	形態機能学Ⅰ	1前	1			1					
	形態機能学Ⅱ	1後	2			1					
	形態機能学Ⅲ	1前	1			1					
	臨床微生物学	1前	1								
	病態病理学	2前	1			1					
	臨床薬理学	3前	1								
	臨床栄養学	3前	1								
	治療法概論	2前	1								
	疾病論Ⅰ	2前	1			1					
	疾病論Ⅱ	2後	1			1					
	疾病論Ⅲ	2後	1								
	疾病論Ⅳ	2後	1			1					
	感染症概論	1後	1								
	リハビリテーション概論	3前	1								
	公衆衛生学	1後	1			1					
	保健医療統計	2前	1			1					
	健康教育論	3前	1			1					
	保健医療福祉行政論	2前	1			4 0		1			
	社会福祉論	1後	2								
	チーム医療	2後	1					1			
	関係法規	3前	1								
	家族論	2前		1		1					
	コミュニケーション論	1後		1							
	カウンセリング論	3前		1			1				
	臨床心理	2後		1			1				

專門教育科目

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
81科目	32科目	0科目	113科目	81科目	32科目	0科目	113科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護・診療放射線学院と共用、収定400人 (借用地) 運動場、20年13,710㎡ 駐車場、1年自動更新、3,058㎡				
	校 舎 敷 地	0㎡	20,945㎡	0㎡	20,945㎡					
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡					
	小 計	13,710㎡	20,945㎡	0㎡	34,655㎡					
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡					
	合 計	16,768㎡	20,945㎡	0㎡	37,713㎡					
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護・診療放射線学院と共用 収定400人 1,480㎡				
		5,167.31㎡	3,179.52㎡	2,463.58㎡	10,810.41㎡					
		(3,055.87㎡)	(4,658.96㎡)	(3,095.58㎡)	(10,810.41㎡)					
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
		11室	8室	2室	1室 (補助職員 人)	情報処理室と共用 (補助職員 人)				
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		保健医療学部看護学科			25 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル						
		冊	種	〔うち外国書〕				点	点	点
		保健医療学部 看護学科	20,052 [333] 14,309 [333] 20,088 ([335]) (12,309 [333])	331 [11] (316 [11]) (316 [10])				6 [6] (5 [5]) (6 [6])	381 357 (381) (357)	6,434 (6,450)
計	20,052 [333] 14,309 [333] (20,088 [335]) (12,309 [333])	331 [11] (316 [11]) (316 [10])	6 [6] (5 [5]) (6 [6])	381 357 (381) (357)	6,434 (6,450)	96 (96)				
(6)図書館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		328.34㎡		80席		29,160冊 28,800冊				
(7)体育館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		660.00㎡		該当なし						
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度			
		教員 1 人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	46,295千円	3,000千円	3,000千円		
		共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	128,767千円	2,000千円	2,000千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学長)	デンノ リョウイチ 傳 野 隆 一	平成26年4月	総合医療論 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅲ						変更なし
専	教授	ムラマツ ユカサ 村 松 ユカサ	平成26年4月	統計学 情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ 公衆衛生学 保健医療統計 看護研究演習						変更なし
専	教授	オオキタ イサヲ 大久保 岩 男	平成27年4月	生命科学 病態病理学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅳ 小児の健康障害 看護研究演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	オオキタ イサヲ 大久保 岩 男	平成26年4月	生命科学						変更なし
専	教授	タカミ スミコ 高 波 澄 子	平成26年4月	看護を知る 保健医療福祉行政論 在宅看護概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	オカダ ナミ 岡 田 尚 美	平成26年9月	看護を知る 保健医療福祉行政論 在宅看護概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 高波澄子教授就任辞退 平成26年6月変更書提出予定
専	教授	オカダ ヨコ 岡 田 洋 子	平成28年4月	看護を知る 小児看護学概論 小児看護学実習 看護研究 看護研究演習 看護教育 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	教授	マツダ ヒトミ 松 田 ひとみ	平成28年4月	看護を知る 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	マツダ ヒトミ 松 田 ひとみ	平成27年4月	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ						変更なし
専	教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子	平成26年4月	文化人類学 家族論 看護研究演習						変更なし

専	教授	コヤマ ミチコ 小 山 満 子	平成26年4月	看護を知る 母性看護学概論 母性看護学実習 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	教授	モンマ マサコ 門 間 正 子	平成26年4月	看護を知る 健康教育論 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	教授	サカタ ミヨシ 坂 田 三 允	平成28年4月	看護を知る 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	講師	サカタ ミヨシ 坂 田 三 允	平成27年4月	精神看護学概論							変更なし
専	准教授	ハラヤ タミ 原 谷 珠 美	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	准教授	ササキ ユキコ 佐々木 由紀子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 感染管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	准教授	マツモト マユミ 松 本 真由美	平成26年4月	心理学 発達心理学 人間関係論 カウンセリング論 臨床心理							変更なし
専	准教授	イトウ リョウコ 伊 藤 良 子	平成27年4月	看護を知る 小児看護援助論 小児看護学実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	准教授	モリグチ マイ 森 口 真 衣	平成26年4月	倫理学 生命倫理 宗教と思想 看護研究演習							変更なし
専	准教授	ヤマダ アツシ 山 田 敦 士	平成26年4月	日本語表現 中国語							変更なし

専	准教授	コシマ エツコ 小 島 悦 子	平成26年4月	看護を知る 看護学概論 援助の人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	准教授	ホンマ ヒロコ 本 間 裕 子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	ヨシタ ミキ 吉 田 美 幸	平成27年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ	平成26年3月 本間裕子准教授就任辞退 平成26年6月変更書提出予定
専	講師	ススキ ヤスヨ 鈴 木 康 世	平成26年4月	看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	タカタ マイコ 高 田 麻 依 子	平成26年9月	看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 鈴木康世講師就任辞退 平成26年6月変更書提出予定
専	講師	イトウ ヒロミ 伊 藤 廣 美	平成26年4月	看護を知る 精神看護援助論 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 医療情報 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ			「			変更なし
専	講師	フジカサ スガコ 藤 長 す が 子	平成26年4月	看護を知る 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	シゲノ カズエ 滋 野 和 恵	平成26年4月	看護を知る 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	フクシマ マリ 福 島 眞 里	平成26年4月	看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	オオムラ イコ 大 村 郁 子	平成28年4月	看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし

専	助教	サイトウ キョウコ 斉 藤 恭 子	平成26年4月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	助教	ハタタ マミ 萩 田 真 美	平成26年9月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 斉藤恭子助教就任辞退 平成26年6月変更書提出予定
専	助教	サイトウ リカ 斉 藤 リ カ	平成26年4月	看護を知る 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
兼任	講師	フサギ キヨタ 房 崎 清 隆	平成26年4月	哲学 論理学						変更なし
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今 井 由 恵	平成27年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	ヨシムラ サチコ 良 村 貞 子	平成27年4月	法学 関係法規						変更なし
兼任	講師	スズキ トシマサ 鈴 木 敏 正	平成27年4月	教育学						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗 本 瑞 恵	平成26年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	ミヤケリ ヨシコ 宮 森 芳 子	平成26年4月	生活科学						変更なし
兼任	講師	アイチ タイゾウ 相 内 泰 三	平成26年4月	自然科学						変更なし
兼任	講師	モリヤ キョウ 森 谷 梨	平成26年4月	環境科学						変更なし
兼任	講師	ゴトウ ユリ 後 藤 ゆ り	平成26年4月	生活と運動 健康とスポーツ						変更なし

兼任	講師	ウエムラ マサヨ 上 村 真 代	平成26年4月	英語Ⅰ						変更なし
兼任	講師	セーフ・ブルックリン	平成26年4月	英語Ⅱ						変更なし
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤 間 壮 太	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						変更なし
兼任	講師	キム チャンギン 金 昌 震	平成27年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジイ ノブヒロ 藤 井 暢 弘	平成26年4月	臨床微生物学 感染症概論						変更なし
兼任	講師	ナカムラ トオル 中 村 亨	平成28年4月	臨床薬理学						変更なし
兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴 木 純 子	平成28年4月	臨床栄養学						変更なし
兼任	講師	マツハラ イズミ 松 原 泉	平成27年4月	治療法概論						変更なし
兼任	講師	ハシヅマ イズミ 浜 島 泉	平成27年4月	疾病論Ⅲ						変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太 田 誠	平成28年4月	リハビリテーション概論						変更なし
兼任	講師	スガウラ ヒロシ 菅 原 啓	平成27年4月	高齢者の健康障害						変更なし
兼任	講師	ヤマモト テツゾウ 山 本 哲 三	平成28年4月	女性の健康障害						変更なし

兼任	講師	オキノ マコ 大宮 信	平成27年4月	精神の健康障害							変更なし
兼任	講師	オオタ ハルミ 太田 晴美	平成29年4月	災害看護							変更なし
兼任	講師	オキノ カルコ 萩野 薫子	平成29年4月	現代の看護と課題							変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成26年4月	社会学							変更なし
兼任	講師	マエガ ヒロコ 前田 博子	平成26年4月	コミュニケーション論							変更なし
兼任	講師	オウチ タカオ 大内 高雄	平成26年4月	ボランティア活動 社会福祉論							変更なし
専		専任 補充		成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ			(吉田美幸)				平成26年6月のAC教員審査を受ける 予定の吉田美幸准教授で対応

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
10人	8人	6人	2人	27人	9人	7人	5人	1人	22人		
(7人)	(7人)	(5人)	(2人)	(21人)	[△1]	[△1]	[△1]	[△1]	[△4]	65歳	1名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高 波 澄 子	
2	准教授	本 間 裕 子	
3	講師	鈴 木 康 世	
4	助教	斉 藤 恭 子	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・ 2月の事前相談で厳しく指摘を受けた点をふまえ、学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年4月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置計画を確実に履行し、四年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、質的充実に努める。	
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること	教員組織編成の将来構想について、変更になる教員（4人）について若手を採用するように工夫した。	
	・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	上記を踏まえて、26年6月に教員審査を申請する。	
	・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。	26年度予算から割合をあげるべく努力する。（学生中心の大学づくりを進める）	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜保健医療学部 看護学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

- （注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ ＦＤ委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 第1回 ＦＤ委員会会議（平成26年4月30日） 専任教員全員参加

c 委員会の審議事項等

（１）活動計画策定に向けて （２）授業アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

b 実施方法

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 今後のＦＤ委員会等で検討

- （注）・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
26年4月開学のため、なし

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 未定

b 公表方法

・ 検討中

③ 認証評価を受ける計画

・ 検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (未定)